

## “すべてのひとにやさしいまちへ” 第一歩

### 「めざそうバリフタウン全国大会 in 亀山」のプレ大会開催

#### きっかけは？

昨年の8月、市民協働センター「みらい」で開催された市民企画講座に九州から来訪した車椅子レクダンス普及会 理事長 黒木 実馬氏の講演「バリフタウンへの第一歩」がありました。講演の中で黒木理事長から、車椅子レクダンスの全国大会を亀山で開催してはどうかという呼びかけにより、全国大会を行うことになりました。車椅子に優しい社会環境は、あらゆる障がいにも優しいまちをつくるきっかけになるのでは・・・そんな思いで、たくさんの方がこの大会の成功のため一緒に協力しています。



バリフタウンのロゴ。障がいのある人もない人も双方が歩み寄るイメージ。

#### 新しい言葉バリフタウンの誕生

黒木理事長と面談した桜井市長も亀山で全国大会を開催することに大いに期待し、行政の支援を受けながら、市民が一生懸命取り組んでいます。本大会は2011年11月に開催し、韓国からの来訪者も含め全国各地から600名近い皆様が亀山に集う予定です。この大会を滞りなく開催できるように、プレ大会を今年11月13日に開催します。

これらの大会がこのまちにとって一過性のものに終わらせることなく、バリアフリーのまちづくりが持続的に行われるよう広く福祉にかかわる市民と団体を結集し、その名を「めざそうバリフタウン全国大会in 亀山」実行委員会としました。

バリフタウンという言葉は、バリアフリーのまちづくりを目指し、新しく亀山で生まれた言葉です。

#### ハード（施設）もソフト（こころ）も

社会には身体の障がい、年齢、国籍などさまざまなバリア（障壁）があります。これらのバリアを完全に無くすことはできなくても少なくすることはできるはずです。亀山駅でのエレベータ設置も行政によるハード対策の成果です。外出時に欠かせない多目的トイレの充実もますます必要になっています。この大会を契機にバリアフリー化がさらに進むこともこの大会の大切な目的です。

また、ソフト面での意識改革はすべての人に関係したことです。誰だって人生でのさまざまなバリアを避けることはできません。誰もが住みよいまちになるよう考え、助け合いや譲り合いの心で行動する機会でもあります。

また、大会のシンボルロゴ、大会テーマソング「めざそうバリフタウン賛歌」も作りそのCDもできました。「誰だってつらく、不運な時期がある。でもいつか必ず、よい日が来るんだよ。一人で悩まず一歩踏み出してみようよ。」そんな想いを込めたこの賛歌は、大会を契機に全国に向けて発信する予定です。

#### プレ大会にはすばらしい基調講演も！

プレ大会当日の11時からは講演「バリアフリータウンのまちづくり」を企画しました。

たくさんの方のみなさんの来訪をお待ちしております。

問合せ先：「めざそうバリフタウン全国大会in亀山」実行委員会 TEL 090-4265-2047（渡邊）

#### 基調講演 「バリアフリータウンのまちづくり」

講師：伊勢志摩バリアフリーツアーセンター事務局長 野口あゆみ氏

と き：11月13日（土） 午前11時～午後12時10分

と ころ：亀山市西野公園体育館

どなたでも無料で参加できます。

（市民活動講座企画会議共催）



**市民交流の日** レポート 8月21日(土) 19:30～21:30 市民協働センター「みらい」**8月のテーマ：平和について語ろう****戦争体験者から**

- ・戦争を知っている世代はすでに70歳を超えている。
- ・昭和20年、亀山で起こった参宮線の列車攻撃は今でも調査が行われている。
- ・戦争の映画を観たが、現地での惨状はを映画以上の悲惨さであった。
- ・機銃掃射を5歳で見たことを今でも覚えている。とても怖かった。
- ・戦争が終わって灯火管制がなくなってうれしかった。
- ・ゆったりした日を送れることに喜びを感じた。

**戦後を生きて**

- ・戦後のアメリカの指導で婦人参政権、農地解放、PTAができた。
- ・徴兵制がなくなり兵隊検査もなくなった。
- ・戦後も食べ物で困った。すずめもザリガニも食べた。
- ・その苦労が少々の困窮にも耐えられる体験になっている。
- ・平和はありがたい。厳しい時代だったがこの経験が役に立ち、どんなことにも辛抱できる。

**なぜ今でも戦争をするのか？**

- ・一口に戦争と言っても色々ある。例えば、国内の権力争いの戦争や他国の侵略による戦争などがある。
- ・今は、戦争を請け負うビジネスがある。
- ・アメリカでは、貧しい人が軍に入ることによって生計を得られるシステムがある。
- ・子どもになぜ戦争をするのかと聞かれても答えることは非常に難しい。
- ・結局「欲」が戦争を引き起こすのだろう。
- ・戦争に行きたくないと思っているのになぜ行くのか。
- ・強力な権力に従わなければならない。人間は弱い。
- ・正しい情報が大切。倫理教育が必要だと思う。
- ・欲だけを考えるのではなく自分と他人を考える教育が必要。
- ・日本の戦後はアメリカの悪いところだけを引き継いだのではないか。
- ・少しでも基地を減らす方法を考えなくてはいけない。
- ・戦争を題材としたゲームがある。ゲームは殺しても生き返るから、実際に人を殺しても生き返ると思っている子どもがいる。
- ・戦争を知らない大人が子どもに戦争を伝えていくので知識



**この集まりは、毎月21日に(土日、祝日関係なく)19時30分から21時30分に「みらい」で開催しています。申し込み無しで、誰でも自由に参加できます。聞くだけの人も大歓迎です！ぜひ、一度お越しください。**

**10月21日(木)のテーマ：亀山の現状について話しませんか？**

(出生率、結婚、離婚など)

19時30分～21時30分です。

**どなたでも自由に気軽に参加できます。あなたの想いをお話してください。****～ 輪を広げましょう！(^o^) ~**



10/10

まがいぶつ  
亀山あるこうかい 石山観音の磨崖仏を訪ねて

と き：10月10日(日) 午前9時30分～午後2時頃  
 集合場所：JR 関駅 JR 亀山駅9時08分発 加茂行の乗車が便利です。  
 コース：関駅>萩原>石山観音>関ドライブイン>関駅(約8キロ)  
 参加費：会員は無料、会員以外で当日のみ参加は200円  
 持ち物：弁当  
 雨天決行、申込不要。



問合先：TEL 96-2532 (運営委員長 不破)

10/16

## ぼっかぼかの会座談会 わが子が障がい児～父親の役割～

子ども総合センターの志村浩二専門監をアドバイザーにお迎えし、お父さんの役割～子どもとの関わり・母親支援・父としての教育の仕方～をテーマに座談会を開催いたします。

と き：10月16日(土) 午前9時30分～午後12時(受付9時15分～)  
 ところ：亀山市青少年研修センター2階 和室4  
 対象：障がいのあるお子さんの保護者、関心のある方  
 定員：20名(先着順)  
 参加費：会員無料、非会員300円  
 託児：7名(先着順一人200円)



問合先・申込先：ぼっかぼかの会 FAX 0595-83-4956(浜野)  
 E-mail y\_hamano@kpa.biglobe.ne.jp

\*氏名、電話番号、住所、お子さんの年齢(学年)をお知らせください  
 (託児希望の方は、託児されるお子さんのお名前・生年月日・障がいの有無も報告ください)  
 \*定員を超えた場合、お断りの連絡をさせていただきます。

10/24

## 第5回ひとのわコンサート



10月24日(日)、亀山市文化会館にて「ひとのわコンサート」を開催します。  
 今年は第5回を迎えメモリアルなコンサートにしようと、第1部に亀山中学校・  
 亀山高校の吹奏楽部の皆さんの迫力ある吹奏楽の演奏、威勢のいい太鼓の打ち鳴ら  
 し、チーム多門さんによるソーラン踊りで舞台をところせましと演じて頂きます。第  
 2部は県内でもトップクラスのソプラノ歌手の佐波真奈己さんとピアノの奏者の中谷  
 真弓さん、大阪交響楽団による弦楽カルテットをしっくりとおなじみのクラシック  
 曲を中心に本格的なコンサートを計画しております。是非、「ひとのわコンサート」

へ足をお運び頂き、一日ゆっくりとお楽しみ下さい。

お昼は「亀山みそ焼きうどん」のブースもあります。チケットはエコー、亀山市文化会館、ねこの館、  
 caf あんず、和風喫茶あもん、小万茶屋にあります。

と き：10月24日(日)第1部 午前10時～午後12時  
 大木神社太鼓連 亀山中学吹奏楽部 チーム多門 亀山高校吹奏楽部  
 第2部 午後1時～4時  
 ソプラノ独唱：佐波真奈己(ピアノ：中谷真弓) ピアノ独奏：中谷真弓  
 大阪交響楽団カルテット  
 全日 午前9時～午後4時 中央コミュニティセンターで作品展  
 (書、写真、ペーパーアート、現代アート)

ところ：亀山市文化会館 大ホール  
 入場料：第1部(無料) 第2部 1,000円(学生割引券 300円)  
 主催：ひとのわコンサート実行委員会

問合先：TEL 090-1479-8962(林)



## あのひと、このひと

このコーナーは、市民活動団体などで活動している方に、活動を始めたきっかけや活動の内容、今後の展開、これから活動を始める方へのアドバイスなどを率直なことばで語っていただきます。

### 今月は、『仲良し折り紙サークル』の 坂厚子さんと堀部笑子さんです。

私たちは、平成16年度文化講座「装飾折り紙」からできたサークルです。現在13名が日本折り紙協会師範の二階堂黎子先生にご指導いただいて、月1回作品を折っています。

今までに、四季折々の花、年中行事、干支等をテーマに先生が創作された作品を仕上げました。色紙に貼ってまとめる折り紙なので部屋に飾って楽しんでおります。さらに、去年は古典折紙の「七福神」に挑戦しました。18cm角の色の違う和紙を6枚重ねて、着物から頭巾、手足まで折ります。一年以上かかって七体が完成した時は歓声があがりました。

頭と手先を使う細かい作業ですが、なごやかな雰囲気の中、皆が協力しあって、作品が完成した時の喜びはひとしおです。

市民協働センター「みらい」で毎月第一金曜日午後1時から3時まで活動しております。興味のある方は、ぜひ一度のぞいてみてください。

問合せ先 83-1550(坂)  
82-6678(堀部)



活動の様子

市民協働センター  
「みらい」にて





## 8-9月イベントからのレポート

生物多様性への活動当地でも  
布気町道野の池干し

8月28日(土)に、道野自治会(明石武美自治会長)主催で通称「からいけ」の外来魚駆除が行われました。

「からいけ」は水戸の詰まりもあり、長い間、水が完全に抜かれることはありませんでした。

池干しに先立ち、水戸の復旧を行い、それから水を抜いてみると、在来魚は10折程度のコイのみで、あとは無数のブルーギル、ブラックバス等の外来魚ばかり状態の池となっていました。

当日は大学生や地元の子ども達が参加し、コイの保護とともに外来魚の駆除作業を行いました。水位が回復した後は、在来魚を放流し、昔ながらの生態系を育む池に戻していく予定です。

また、暑い中での作業で大変でしたが、地元から冷たいお茶やかき氷のサービスもあり、参加者は、非常に喜んでおりました。お心遣いに感謝しております。

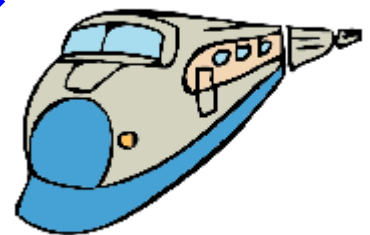
(水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座 栗原 勉)

## まちかど博物館inロックタウン 開催

「まちかど博物館」を広く市民に知ってもらおうと、鈴鹿、亀山、津の三市の計二十二館による合同展示会が9月11、12日に鈴鹿市にあるロックタウンの空き店舗にて開催されました。700㎡の空間に、絵画や古い写真、染め物、ガラス細工、能面や仏像、プラレールなどが飾られました。

来場者は、各館長の展示品を熱心に鑑賞し、館長から作品についての説明を受けていました。中でも、プラレールのコーナーでは、大規模なレールで自分のプラレール車両走らせることが出来るということもあり、小さな子どもから大人まで楽しんでいました。

また、昔ながらの技を体験出来るブースを設けているところもあり、来場者は観るだけでなく体験することもできました。



(市民相談協働室)

10/25

## 「市民活動なんでも相談所」相談希望者募集



「何かやりたいけど、どうしたらいいかわからない。」「活動するのに資金が不足していて...どうしよう?」など市民活動に関するあらゆる相談に応じます。

予約優先で相談を受け付けますので、相談を希望される人は、お申込みください。

と き : 10月25日(月) 1時～2時 2時30分～3時30分  
4時～5時 6時30分～7時30分  
8時～9時

ところ : 市民協働センター「みらい」2階 第2会議室

相談員 : 亀山市民活動専門コーディネーター 亀山裕美子氏

申込方法 : 相談を希望される方の氏名、住所、電話番号、希望日時、相談内容を記入のうえ、直接申込先に提出して頂くかFAXにてお知らせください。先着順で受け付けます。

申込先、問合せ先 : 市役所 市民相談協働室 TEL 84-5008、FAX 82-1434

市民協働センター「みらい」受付 TEL 84-5800



10/16

## 秋の夜長の星空散歩

申込不要でどなたでもご参加いただけます！みなさんお越しください。

と き：10月16日(土) 午後6時30分～9時

と ころ：鈴鹿峠自然の家および天文台『童夢』

第1部 午後6時30分～7時30分

内容・・・秋の星空学習会(ビデオ上映、宇宙の話など)

第2部 午後7時30分～9時

内容・・・天文台『童夢』にて天体観察

参加費：無料

問合先：坂下星見の会 TEL 090-7916-9907(瀧本)



10/23

## 第10回亀山童謡フェスタ



第10回亀山童謡フェスタを開催します。みんなで楽しく歌いましょう！

と き：10月23日(土) 午後1時30分～3時30分頃

と ころ：亀山市文化会館

入場料：300円

主 催：亀山童謡フェスタ実行委員会

問合先：TEL 82-3530(森下)

10/23、24

## チェーンソー伐木研修会受講生募集

地球温暖化や生物多様性保全に向けた森づくり等のために、チェーンソーを使った伐木の機会が増えており、このような作業を安全に活動を実施するための合理的な技術・技能を取得する研修会を開催します。伐木初心者の方、これから間伐される方、自己流の伐木で危険な思いをされた方には最適な研修です。

と き：10月23日(土)、24日(日) 午前8時30分～午後5時(8時30分集合)

と ころ：語らいの里「嘶野(はなしの)」 三重県度会郡大紀町滝原(R42道の駅木つつき館近く)

内 容：チェーンソーによる伐木技術の習得、チェーンソーの支持・操作方法、エンジン調節、目立て、丸太によるチェーンソーワーク、伐木・枝払い・造材 24日は吉田本家の山林にて立木の伐木体験

持ち物：チェーンソー(お持ちでない方には貸し出します)

定 員：20人(先着順)

研修費：15,000円(教本代含む)

主 催：三重県森づくり安全技術・技能地域推進協議会

申込先：TEL 080-3641-3030 FAX 059-262-4076(事務局長 松下)



## 市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています

詳しくは、市民相談協働室(Tel 84-5008、Fax 82-1434、Email: shimin@city.kameyama.mie.jp)  
又は、市民協働センター「みらい」(Tel 84-5800、Fax 84-5801、Email: mail@shimin-kyodo.sakura.ne.jp  
東町一丁目8番7号)までご連絡ください。

編集作成：「きらめき亀山21」広報部(問合先：亀山市市民部市民相談協働室〒519-0195三重県亀山市本丸町577番地)

市民活動ニュース配置場所：毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市民協働センター「みらい」・関支所・図書館・歴史博物館・医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあい交流センター・林業総合センター・鈴鹿馬子倶楽部・老人福祉センター・健康づくり関係センター・青少年研修センター・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・亀山駅・百五銀行亀山支店・市民のショップねこの館・茶気茶気・オアシス館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター(津市)

ホームページ <http://shimin-kyoudo.sakura.ne.jp/kirakame21/> 市民ネット <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/shiminet/>

「きらめき亀山21」メーリングリストへの加入は「きらめき亀山21」HPより登録できます。